

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和3年度 第1回相模原市発達障害者支援地域協議会				
事務局 (担当課)		陽光園 電話042-756-8410(直通)				
開催日時		令和3年7月8日(木) 15時00分～17時00分				
開催場所		相模原市民会館3階 第1大会議室				
出席者	委員	19人(別紙のとおり)				
	その他	1人(相模原公共職業安定所 統括職業指導官 芳賀美和)				
	事務局	11人(こども・若者未来局長、陽光園所長、発達障害支援センター所長、他8人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 委嘱式 2 令和3年度発達障害者支援地域協議会について 3 議題 (1) 市の発達障害支援について ア 陽光園 (ア) 療育センター陽光園に係る総括機関について (イ) 令和3年度主催研修等事業及び研究協力について イ 発達障害支援センター (ア) 令和2年度実績について (イ) 普及啓発事業について (ウ) 文部科学省からの受託事業について (2) 各部会における取り組み状況の報告 (ア) 乳幼児期部会 (イ) 学齢期部会 (ウ) 成人期部会 4 その他				

## 議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

### 1 委嘱式

### 2 令和3年度発達障害者支援地域協議会について

(互選により日戸氏が会長、大山氏が副会長に選出され、事務局より資料に基づき説明を行った)

### 3 議題

#### (1) 市の発達障害支援について(会長の進行により議事が進められた)

##### ア 陽光園

(ア) 療育センター陽光園に係る総括機能について(資料2)

(イ) 令和3年度主催研修等事業及び研究協力について(資料3)

(小泉委員) 松が丘園では18歳以上の発達障害者の支援を行っている。統計上相談数は横ばいとのことであるが、未診断の方でも困り感を感じて松が丘園に相談される方は一定数いる。そういった方が使える社会資源やサービス等がわからないことがないように要望したい。また、人材確保が課題であると考えている。

##### イ 発達障害支援センター

(ア) 令和2年度実績について(資料4)

(イ) 普及啓発事業について(資料5)

(ウ) 文部科学省からの受託事業について(資料6)

(日戸会長) 発達障害等のある若者において、同世代の若者と交流する機会が少ないという現状から、大学のゼミを活用した交流プログラムであるインクルーシブ・ゼミや、障害の有無を問わず、大学の講義を聞き、交流するプログラムであるインクルーシブ・セミナーに加え、今年度より新規のプログラムとしてインクルーシブ・リサーチを開催する予定である。また、2月にシンポジウムの開催を予定している。

#### (2) 各部会における取り組み状況の報告

(ア) 乳幼児期部会(資料7)

(斎藤委員) 保護者支援の難しさを感じている。障害の受容ではなく、不登校など発達障害ではない課題からスタートするが、話を聞いていくと発達障害がベースにあると感じることも多い。保護者の意識の持ち方が多様化してきており、どのようにかかわるべきか悩ましい。

(大山会長) 関係機関連携について、各機関との連携はうまくいっている様子で、保護者の満足度も高くなっているように思う。しかし医療機関側から見ると、医療と関係機関との連携が課題と感じている。療育の情報の共有という点でも今後検討してもらいたい。

(事務局) 福祉側の機関としては、医療に相談することの壁が高く難しさを感じ、相談控えてしまうことがある。

(大山会長) 医療機関側では近年コロナ禍の中で積極的に関わっていきこうという流れがある中で、その子や保護者の情報が必要である。従来の診療所というだけでなく、医療と療育を担当するような部門が情報共有すると良いのではないかと感じる。

(事務局) 市としてもどのような形がとれるのか、検討していきたい。

#### (イ) 学齢期部会(資料8)

(島森委員) 「保護者支援とは」ということについてこれから考えていくと思われるが、親の会や支援学校と連携していくことがまず一つではないか。教育と福祉の連携という話題は親の会でもいつも盛り上がる内容であるため、親の会目線での課題を検討してもらいたい。

(事務局) 部会員から見えるあり方はあくまで支援者側の片面からの見方だと思うので、ぜひ今後も引き続きご意見をいただきたい。

(日戸会長) トライアングルプロジェクトが厚生労働省と文部科学省と協働で行われていたが、その後教育と福祉の人材育成に引き継がれており参加している。今まで教育だけでもしくは福祉だけ研修を受ける、縦割りで行われていた研修を職種と縦割りに関係なく発達障害に携わる人は広く基本的に知っておくべき知識を得られるよう、都道府県で枠を超えた研修を検討している。一番最初の研修はビデオオンデマンドでお互いを知る、という内容である。順調にいけば、コンテンツがHPに掲載されるのでみてほしい。

(井上委員) 学齢期支援に関する疑問があるのだが、グレーゾーンと表現してしまうと、「どこからどこまでが支援の対象なのか」と保護者が不満を抱いてしまう。ニーズが見えにくいので、どのように判断すべきか迷っている。

(日戸会長) 連続体と言われている中で、特性を強く持っている人と薄く特性を持っている人ではどう考えたらよいのか、相模原市としてはどう考えるのか。

(水野委員) 支援が必要なお子さんは就学相談に申し込みをする。しかし就学相談を受けたほうが良いお子さんの明確な基準はない。施設の職員や園の先生から勧められて受ける方がいる。就学先としては支援学校、支援級、通常級が考えられる。また通常級であればサポートルームでの支援が受けられ

る。就学相談に申し込みをすると就学支援委員会により、適切な学びの場に結びつく。どこまでが支援の対象となるかについては、就学支援委員会の中で審議の上、お子さんの状態像や保護者の希望を聞いた上で、適切な学びの場を検討していく。しかし、就学相談に申し込みがない子については、支援が繋がらないのが現状である。

（千谷委員）グレーゾーンの子の対応について。通常級の中にいる子でも難易度別に授業を受けられるような取り組みを行っている学校もある。そういった個々に合わせる支援も今後できるようになるのではないかと考えている。

（日戸会長）インクルーシブ教育を通常級の中で課題のある子に対応できるのか、ということが課題となってきた。通級指導教室では、教室に通えるのかどうかは課題だったが、巡回指導に切り替え、所属校の先生も対応できるように指導していく、という動きが全国的に広がっている。

（井上委員）通常学級がユニバーサルデザインになっていくと、相対的にはよいのではないか。

#### （ウ）成人期部会（資料9）

（千谷委員）本田先生の図は、連携のインターフェイスとして活用するものだと理解している。また、生活支援プランMapを使って情報共有していくことを進めていたと思うが、成人版Mapのようなツールが必要と感じる。また、医療への相談の垣根が高いことから、連絡するためのツールとして生活支援プランMapが使えるようになることを期待したい。

（日戸会長）成人期支援になると関係機関の連携が難しい、と言われるが本田先生の図は活用できると思う。

（大山会長）生活支援プランMapが教育だけでなく使えるものであればぜひ発展させてもらいたい。そうすることで医療と情報共有しやすくなると思う。もう一つ、こども庁が近々設置されると思うが、母子健康手帳が乳幼児期からさらに発展させ、教育の場で使えるように学齢期以降も対応できるものになるよう改訂が進められていると聞いている。

（日戸会長）インクルーシブ・ゼミの中では、ポートフォリオとして支援機関からもらったものを時系列でファイリングし、次の支援機関につながった時に自分のことを伝えられるツールとして活用するようにしている。

（相模原公共職業安定所 芳賀統括職業指導官）就労に関しては就労パスポートというものを1年半前に作成した。特別支援学校でも作れるとよいと思っている。

#### 4 その他

今後のスケジュールについてのお知らせ

- ・乳幼児期部会 令和3年9月16日
- ・学齢期部会 令和3年10月5日
- ・成人期部会 令和3年9月2日
- ・第2回の協議会 11月頃

どの会議も開催形態や開催場所については、新型コロナウイルス感染症に係る国や市の動向に合わせて、今後連絡予定。

以 上

令和3年度 相模原市発達障害者支援地域協議会委員出欠席名簿

	氏名	所属	備考	出欠席
1	日戸 由刈	相模女子大学	会長	出席
2	大山 宜秀	一般社団法人相模原市医師会	副会長	出席
3	井上 勝夫	北里大学病院		出席
4	柳場 秀雄	相模原市自閉症児・者親の会		出席
5	島森 政子	相模原市障害児者福祉団体連絡協議会		出席
6	中島 博幸	社会福祉法人風の谷		欠席
7	赤石澤 勝	地域活動支援センターカミング		欠席
8	斎藤 優子	社会福祉法人すずらんの会ぱれっと		出席
9	千谷 史子	NPO法人ワンダートンネル		出席
10	南湖 浩一郎	児童発達支援センターいっぽ		欠席
11	小泉 剛	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団		出席
12	見目 茂則	神奈川県立相模原養護学校		出席
13	松本 祥勝	学校教育課		出席
14	水野 正人	青少年相談センター		出席
15	高橋 麻矢	相模原公共職業安定所		出席
16	加藤 智也	相模原警察署生活安全第一課		出席
17	米山 守	高齢・障害者福祉課		出席
18	穴倉 久里江	精神保健福祉センター	代理出席	出席
19	落合 万智子	緑高齢・障害者相談課		出席
20	遠山 芳雄	保育課		出席
21	江成 敏郎	こども家庭課		出席
22	波田野 房枝	南子育て支援センター		出席
23	秋本 伸幸	児童相談所		欠席